

# 萩ジオパーク

萩ジオパーク推進協議会

| 2024年6月30日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

## 推進協議会だより vol.112

### 地球を食べる食堂 2024 スタート！



6月16日に毎月恒例のイベント「大地の日」を萩市田万川の小川公民館にて開催しました。その中で、食育講座「地球を食べる食堂」を大地の日バージョンで初開催しました。小川の“たまねぎ”を、大地の視点と生産者の視点で深掘りした後、自分たちで調理して食べる、という内容です。たまねぎ生産に関するお話は農事組合法人・小川の郷の尾木武夫さんに、調理実習は萩市食生活改善推進員の方々に講師を務めていただきました。小川の大地で育った立派なたまねぎを使って、自分たちで作ったスペシャルランチの味は格別だったのではないのでしょうか。



大地の日のイベント会場の方は、今回は10種類もの体験プログラムがありました。初出展の「萩コーヒー・ルポ」さんは、コーヒーの飲み比べ体験を提供してくださいました。同じ品種の豆で、栽培されている地域が違う3つのコーヒーを比べます。大地が違えばこんなに味が違うのか、と皆さん驚かされている様子でした。

他にも、阿武火山群の一つである相島のスイカなどの萩のフルーツを使って自分でパフェをつくる体験は、開始から20分で用意していた分が終了する大人気ぶりでした。大地の日は月1開催を始めて半年が経ちましたが、イベント参加者はもちろん、出展者同士の交流も活発になってきた気がします。これからも、さらに多くの皆さんと楽しみたいと思っていますので、みなさん是非お越しください！



# 学習会・研修会の講師を務めました

## 患者サロン“だいたい”ジオパーク学習会@笠山

【6/4】

がん患者さんやご家族のみなさんで構成される患者サロン“だいたい”からのご依頼で、笠山を舞台に学習会をしました。山頂展望台で絶景と共に鳶ノ巣カフェのコーヒーを堪能していただいた後、その絶景の背景にある火山の活動を実験で学んでいただきました。最後には海岸付近へ移動し、溶岩の観察や、その上に広がるツバキの群生林を見学し、萩ならではの大地の活動と人々の暮らしのつながりを実感していただきました。長く萩に住んでいるけれど知らないことだらけだった！と喜んでいただきました。



## 萩市役所新規採用職員研修@萩城下町・笠山

【6/6】



毎年恒例の新採職員研修を行いました。萩城下町を地形を意識して散策することで、川が氾濫し変化する大地と向き合った先人の知恵に触れた後、笠山に移動して、萩ならではの火山の活動を実験や地層の観察などから学び、大地と人のつながりを体験的に知っていただきました。

萩ジオツーリズム協会のジオガイドさんや、笠山ジオの会の皆さんも大活躍。ワイワイ楽しんでいただきながら、萩について深く学んだり、ジオパークの活動を知ったりしていただけたのではないのでしょうか。

## 萩市立小・中学校新規採用教員等研修会@越ヶ浜・笠山

【6/7】

こちらも恒例、新採教員研修を行いました。越ヶ浜を舞台に、迷路のような漁師町を歩いてもらったり、風穴を体感したりして、土地と向き合いながら恵みと試練に向き合ってきた人々の姿に触れてもらいました。その後、笠山の山頂に移動して、越ヶ浜を含めた萩の人々の暮らしと切っても切り離せない火山の成り立ちを実験を交えて学んでいただきました。

ここでも笠山ジオの会の皆さんにお手伝いいただき、内容の濃いプログラムを実施できました。研修を受けられた先生たちは市外出身者ばかりですが、萩について深く知っていただけましたし、学びの手法もとても参考になったという嬉しいお言葉をたくさんいただきました。



## 堀内町内会現地研修会

【6/9】



堀内町内会堀内伝建地区委員会主催の現地研修会で、伊藤事務局長が「下を向いて歩こう～大地と人のつながり探し～」と題して、萩ジオパークについてのお話と堀内地区の現地案内をしました。30名が参加され、砂丘の微妙な高低差や石垣などに使われている石材の違い、地震による城内の石垣の修理跡などを見て歩き、日ごろ意識していない「大地」を感じていただくことができました。

毎年5月に主催する「城下町萩・堀内散策」などの機会に活かしたいとのことでした。

萩ジオパークでは、毎年多くの学校から依頼をいただき出前授業をしています。今年の6月は、特に多くの学校に呼んでいただきました。山口市阿東の3つの小学校合同で行う「長門峡スケッチ大会」冒頭の長門峡の解説（6月7日）、萩市立明倫小学校5年生の「総合的な学習の時間」での萩の大地と人のつながりの学習（6月12日）、萩市立椿西小学校4年生の「田んぼ学習」冒頭の大地の視点から見た田んぼの大切さの学習（6月17日）など、毎年お声がけいただいているものに加え、今年は新しいご依頼もありました。

## 6月10日、17日 萩光塩学院高校・地学基礎

今年度から新しく開講されたという「地学基礎」の授業で、「地学を学ぶ意義」と「地層・化石」についての授業を行いました。地学を学ぶ意義についての授業では、地形図を持って外へ繰り出し、学校周辺を散策しました。生徒の皆さんはそもそも地図を持って歩く経験自体がほとんど無かったらしく、慣れない作業に苦労しながらも、普段と違った視点を持ってもらえたようでした。地層や化石についての授業では、萩ジオパークの「しましま地層ボトル」をつくって地層ができる様子を観察したり、萩博物館の化石標本を使って古生物の生態を考えたりしてもらいました。



地球科学は、人によっては一生触れることのない（もしくは記憶に残らない）分野ですが、面白さや大切さを伝えられる貴重な機会になりました。

## 6月13日 見島中学校・萩焼についての学習

萩の離島、見島から中学1年生が来てくれました。地元の産業を学ぶ一環で萩焼に使われる「見島土」を調べているそうです。見島土も含めて萩焼について教えてほしい、というご依頼でした。五感をフル活用する超体験型の内容で、萩焼が生まれる大地の世界を満喫してもらいました。

菊ヶ浜で裸足になって砂浜を堪能したら、木陰で萩焼を使ってセルフ野点。目の前の白い砂浜と萩焼の色が似ている、というところから、どちらも大昔の巨大火山が起源であることを知ってもらいました。その後、萩焼の歴史を知ってもらうために萩城址を見学し、最後は萩焼の祖・坂高麗左衛門窯に行きました。坂窯では土によって特性が違ってそれぞれに役割があることを教わったり、歴代当主の作品を見せていただいたり、江戸時代の登り窯の遺跡も見学させていただきました。

生徒さん2人は行く先々で感動していた様子で、これまであまり馴染みがなかった萩焼についてじっくり触れる機会になったようです。



小学校から高校まで、2人という少人数から100人以上の大人数まで、そして内容も地学の専門的なものから田植えや萩焼などの文化産業を扱うものまで、多様なご依頼をいただいた1ヶ月でした。子どもたちの学びの場に関われる機会が年々増えています。ひとりひとりの将来、そして地域の未来のために貢献できるように、これからも頑張っていこうと思います。

# わっきー教授のジオ・ワールド ③ 小笠原諸島の西之島

地球上には、非常に沢山の火山があり、種類も色々あります。ワッキー教授のジオ・ワールドでは、特に変わっている火山を選んで紹介したいと思います。

今回は、東京都の西之島です。西之島は、東京の南約950kmの場所にあります。1973年に島の近くの海底で大噴火が起こり、あれよあれよという間に新しい島（西之島新島）ができました。この新しい島はどんどん大きくなって、隣の西之島とつながって、大きくなった西之島の一部になってしまいました。西之島は、萩の阿武火山群と同じように安山岩ができていますが、そのでき方が少し違っています。阿武火山群の安山岩は、最初石英の少ない玄武岩マグマに石英の多い岩石が溶けて、安山岩マグマに変わった後、地表に安山岩として噴出しています。しかし、西之島の地下には石英の多い岩石が（下の図の黄色い部分）少ないので、最初から安山岩マグマが出来て、地表に噴出していることが分かりました。このようなでき方は、地球で最初に陸地が出来たときの現象と同じということになって話題になっています。過去と現在そして未来は繋がっているのです。

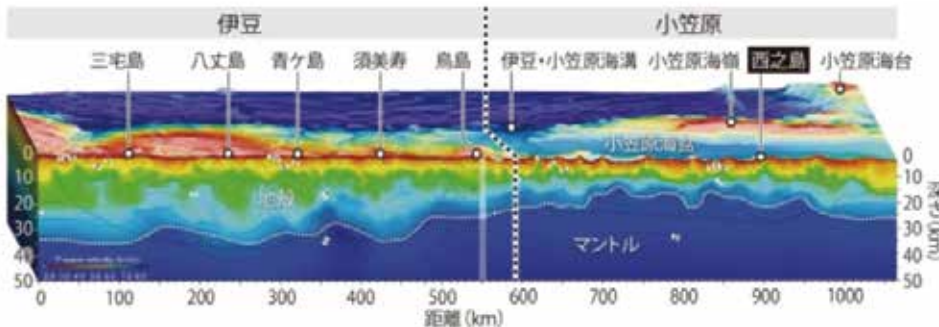


突然噴出した西之島新島 (海上保安庁 HP)

参考文献：田村芳彦著『大陸の誕生』講談社ブルーバックス ISBN978-4-06-535249-6



西之島の形状変化 (海上保安庁 HP)



伊豆・小笠原の地下の構造。(JAMSTEC)

## 鷹の巣 カフェ スタッフより 「修学旅行の思い出」

カフェに来店されるお客様のきっかけは様々です。先日、関東から来店されたお客様は「定年退職を機に修学旅行で訪れた萩に来たかった。特に印象に残っているのは、自由時間にレンタサイクルで笠山の坂を皆で上ったこと、帰りは集合時間に間に合わない！！急げ、急げと海を見ながら、坂を下ったこと。今思えば、何故、笠山を選んだのだろう・・・」と海を眺めながら語られました。今だったら、レンタサイクルで坂を上るのは無理だなあ、今日は車で来たよ！と会話しながらカフェでゆっくり時間を過ごしていただきました。大人になった今だからこそできる笠山での過ごし方をお客様と共有できて幸せだなと感じました。



## 令和6年度萩市ジオパーク活動補助金を交付する団体が決定

団体名：萩PR・COMPANY

交付決定金額：147,000円

事業名：萩の魅力再発見プロジェクト

内容：萩市内各地のジオサイトなどのステンシルデザインを作成し、イベントなどで来場者が巾着袋などに転写する体験の場を提供し萩の魅力を発信する。

※当補助金については7月に交付団体を再度募集する予定です。



夏休みに最適！地球が生んだ圧倒的な絶景と楽しく学べる体験・実験プログラムを用意しています。ご家族・友人とぜひご参加ください。

※各プログラムの詳細はホームページ、チラシをご覧ください。



## 7月の予定

- 日本ジオパークネットワーク第17回通常総会 7月5日(金)10:30～ 場所:日比谷図書文化館(東京都) 内容:2023年度事業報告・決算、2024年度事業計画・予算等の審議 主催:日本ジオパークネットワーク
- 日本ジオパークネットワーク全地域事務局長会議 7月6日(土)9:00～16:00 場所:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) 内容:事業進捗報告、協賛企業等からの情報提供・企画提案、組織体制等各種協議 主催:日本ジオパークネットワーク
- 夏休みだ！萩ジオパーク行こう 7月14日(日)、7月21日(日)、7月27日(土)、7月28日(日) 内容:詳しくはチラシ、HP 主催:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
- 萩ジオパーク「大地の日」特別編 7月20日(土)8:30～16:00 集合場所:萩商港定期船乗場 内容:詳しくはHP 主催:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
- geoとも(萩ジオ友の会)定例会 7月20日(土)13:30～16:00 場所:萩・明倫学舎3号館交流室 内容:講演会「やまぐち県政出前トーク・山口県の多自然な川づくり」 参加費:300円 主催・問い合わせ:geoとも 桂(0838-21-7173)、中西(080-8747-9383)

